

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 8 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策は、運営推進会議を通して、地域の協力体制が整いつつあるが、取り組めば取り組むほどに、様々な気づきを得ることができる。利用者の命を守るために多様な体制を整えていく必要がある。	災害の種類や状況に変化をもたせた訓練の取り組みを積極的に行う。	附近の地図や事業所の図面等を準備し、図上での避難計画を行う。 誘導を円滑に行うため等の防災時避難誘導行動教育の実施。	12ヶ月
2				職員の居住場所と通勤手段から災害時に参集可能職員の把握。 地域住民やボランティアとの交流から避難協力体制を確立してゆく。	12ヶ月
3	1	理念を毎朝唱和しているが、職員への意識付けや浸透が多少薄いように感じられる。	理念とは、物事に対して、こうあるべきだという根本の考えという意味があり、行き詰った時などにもこの理念を見て、立ち返り、法人としての方向性がぶれないことに対しても活用していく。	今までの理念をそれぞれ基本理念、運営理念として継続し、新たにグループホーム理念を職員皆で検討し、わかりやすい理念を掲げ、名札等にも表記し、意識付けを行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。